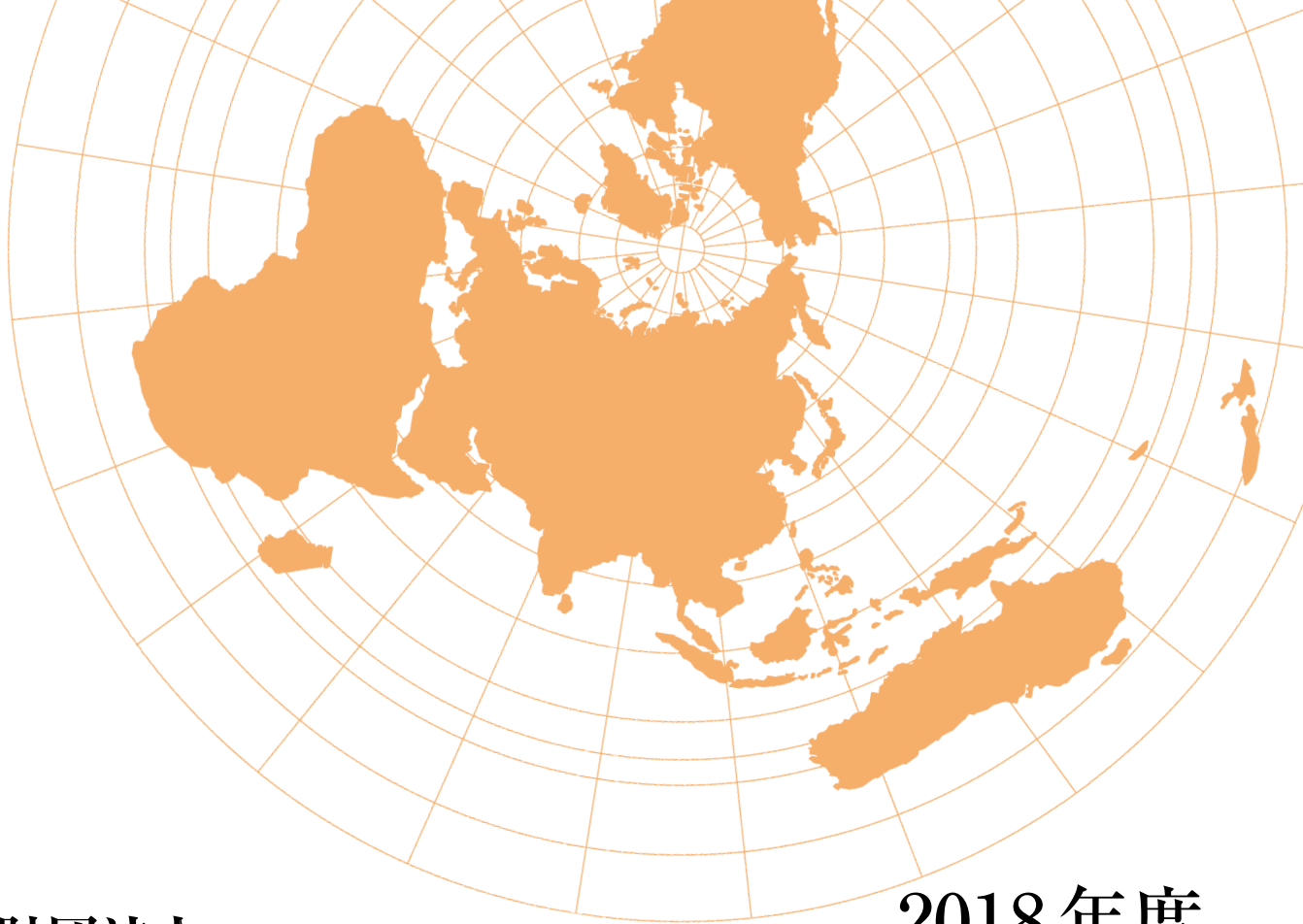




公益財団法人

2018 年度

渥美国際交流財団年報

ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION
ANNUAL REPORT 2018



渥美健夫
(1919-1993)

渥 美国際交流奨学財団は故渥美健夫鹿島建設
名誉会長の遺志に基づき日本の国際化の推
進にささやかながらもお役に立ちたいとい
う願いをこめて、1994年4月1日に設立されました。

当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優秀な学生に奨学援助をいたします。日本にやって来た留学生の皆さんが、学問を成就するだけでなく、豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができますようお手伝いさせていただきたいと思います。

若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道が開かれてゆくことを願っております。

目次 CONTENTS

理事長挨拶	2
-------	---

■ 奨学事業

3

渥美奨学金の概要	4
2018 年度渥美奨学生（24 期生）研究報告会	5
蓼科ワークショップ	7
真夏の夜のバーベキューパーティ	8
工事現場見学会	8
2019 新年会	9
ラクーン会	10

■ 国際交流事業

11

SGRA の概要	12
第 4 回 アジア未来会議	13
第 59 回 SGRA フォーラム	
第 60 回 SGRA フォーラム	
第 8 回日台アジア未来フォーラム	18
第12回 SGRA チャイナ・フォーラム	19
第18回日韓アジア未来フォーラム	19
第 3 回東アジア日本研究者協議会国際学術大会に参加	20
第11回 SGRA カフェ	21
第 7 回 SGRA ふくしまスタディツアー	21
第61回 SGRA フォーラム	22
第62回 SGRA フォーラム	23

■ 財団運営

業務日誌	24
財務諸表	25
財団人名簿	26
奨学生名簿	27
2018 年度の活動にご協力いただいた皆様	32

ごあいさつ

理事長 渥美伊都子

おかげさまで2018年度の事業もつつがなく終了いたしました。さまざまな機会にご支援ご協力いただいた方々に心から御礼申し上げます。

創立以来24年を経て送り出した奨学生が290名となり、その多くがアジア未来会議を始めとする渥美財団関口グローバル研究



会（SGRA）の様々な交流事業の推進役を担ってくださっていることを、大変喜ばしく思っております。近年は、交流会に小さなお子さんを連れていらっしゃる方も増え、とても賑やかで嬉しく思っております。

2018年度の交流事業のハイライトは、8月に韓国ソウル市で開催した第4回アジア未来会議でしょう。総合テーマは「平和、繁栄、そしてダイナミックな未来」で、21ヵ国から379名の登録参加者を得て大変盛会でした。既に18年間日韓アジア未来フォーラムを一緒に開催している韓国の（財）未来人力研究院との共同主催で、SGRAの地道な活動が実を結んだように思いました。また、世界各地から100名近いラクーン（元渥美奨学生）の皆さんが集まってくださり大同窓会のような様相でもありながら、さらにラクーンの皆さんが学術審査や会議の実施運営に携わってくださり、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国を始めアジア各国の若手研究者が研鑽する場を創りあげるという他に例のないユニークな国際学術交流の場として定着して参りました。第5回アジア未来会議は「持続的な共有型成長－みんなの故郷（ふるさと）、みんなの幸福（しあわせ）－」というテーマで、2020年1月にフィリピンのマニラ郊外で開催いたします。

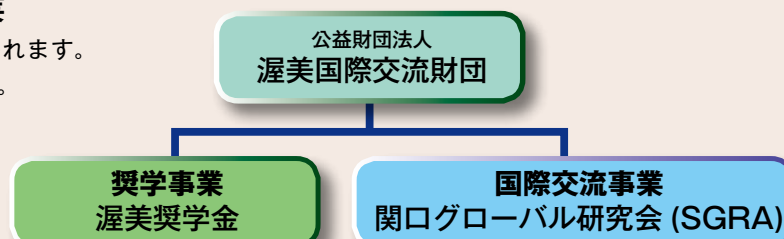
SGRAの活動を通じて培った信頼の絆をベースに立ち上げた「日本・中国・韓国における国史たちの対話」円卓会議も、諸先生方の多大なご協力により順調に進んでおります。次回は『東アジア』の誕生－19世紀における国際秩序の転換－というテーマで、フィリピンで開催いたします。

この不安定な世の中であってこそ、人と人との繋がりを大切にしてひとつひとつ積み重ねていく、ささやかであってもそのような活動を、これからも心掛けていきたいと思っております。

今後とも、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。
奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



奨学事業

奨学事業からネットワークへ

渥

美国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのために、奨学金は必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されます。

2018 年度の主な活動

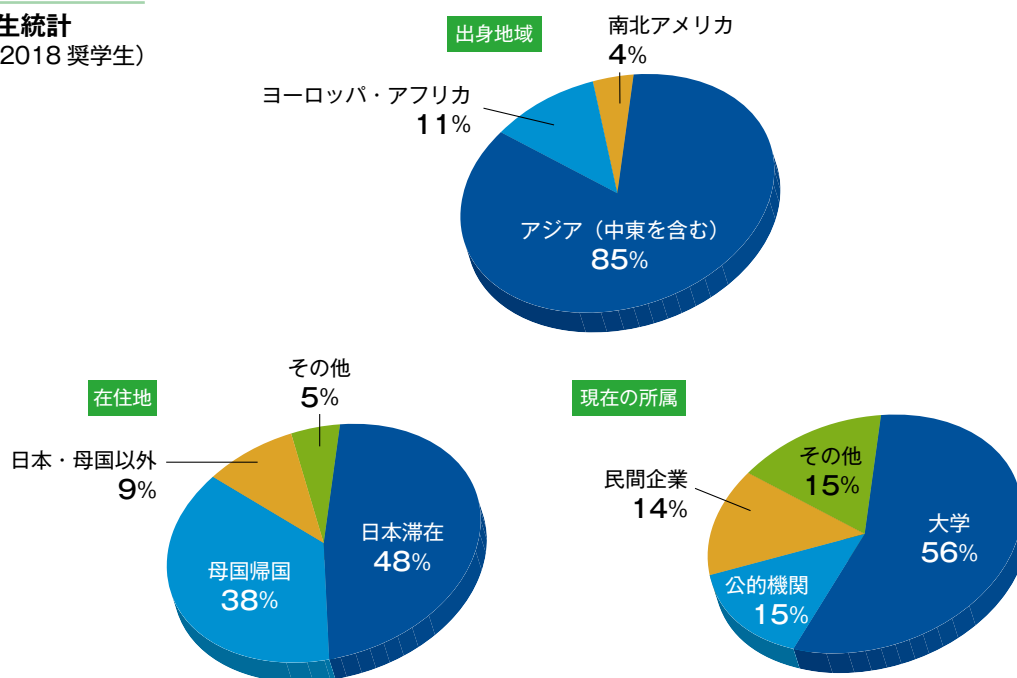
- 2018 年度渥美奨学生（24 期生）研究報告会 p5
- 蓼科ワークショップ p7
- 真夏の夜のバーベキューパーティ p8
- 工事現場見学会 p8
- 2019 新年会 p9
- ラクーン会 p10

渥美奨学金の概要

渥 美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍して博士論文を執筆している留学生を対象に、毎年12名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は1年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありません。2018年度（24期生）までに、51ヶ国・地域出身の、290人の奨学生を支援してきました。

渥美奨学生統計

（1995～2018 奨学生）



募集および選考

■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院の博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正現在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地の両方が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語に堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は常勤の方への支給、および月額5万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません）。

■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年7月以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。

選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2018 年度渥美奨学生（24 期生） 研究報告会

2019年3月2日（土）
於：鹿島新館・渥美財団ホール

2018 年度奨学生と次年度奨学生、来賓の皆様、ラクーン会メンバーおよび財団スタッフなど、50 名を超える方々が参集。多岐にわたる学問領域の研究成果の発表に聞き入り、1 年間の健闘を讃えた。



午後1時30分、渥美伊都子理事長の開会挨拶で報告会がスタート。これまでの努力を労う理事長の言葉に、会場の空気が温まった。



持ち時間は一人15分。パワーポイントを使い、専門外の人にもわかるように工夫された発表がテンポよく展開された。



午後6時近くに13名の報告が終了。来賓の片岡達治氏、金外淑氏から発表に対するコメントと、はなむけの言葉をいただいた。



続いて李恩民氏からは、今後はラクーン会メンバーとして歓迎するとの言葉が、廣田貞雄氏からは心尽くしの小花が贈られた。



来賓の鹿取克章氏の乾杯で懇親会が始まると、ほっとした顔の奨学生たちを囲んで、賑やかな交流の輪が生まれていった。



理事長を囲む2018年度奨学生の面々。渥美財団での1年は、これから続く長い交流の始まり。今後の活躍とご多幸を祈ります。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 03.02 2018 年度渥美奨学生研究報告会 参照。

2018 年度奨学生の発表テーマ一覧

台湾総督府の文化政策と植民地台湾における「歴史文化」

江 永博

Chiang Yungpo (台湾)

早稲田大学大学院
日本史学



非実用的学習環境における日本語教育の意味付け：カザフスタン人日本語教師のライフストーリーから

ショリナ、ダリヤグル

Shorina, Dariyagul (カザフスタン)

筑波大学大学院
国際日本研究



死者と生者の声を紡ぐ金石範文学

趙 秀一

Cho Suil (韓国)

東京大学大学院
言語情報科学



日本における「瀟湘八景」の受容研究：平安時代から室町時代を中心に

武 瀟瀟

Wu Xiaoxiao (中国)

フランス国立高等研究実習院 (EPHE) /
東京大学東洋文化研究所
歴史学・文献学



日本における国際結婚の諸規制：政治学の視点から

コーベル、アメリ

Corbel, Amélie (フランス)

パリ政治学院 (一橋大学大学院)
比較政治



海に飛び込むか、東芝の社員証をかざすか：昭和ノスタルジー批判として笙野頼子『タイムスリップ・コンビナート』(1994年)を読む

ヴューラー、シュテファン・ヨアキム

Wuerrner, Stefan (オーストリア)

東京大学大学院
超域文化科学



マジカルな外部刺激がプロダクトデザインにおける創造性とユーザー経験に与える影響の調査

ハリタイパン、ラリター

Haritaipan, Lalita (タイ)

東京工業大学大学院
(博士) 工学機械



安部公房作品研究：抑圧をめぐって
解 放

Xie Fang (中国)

東京外国語大学大学院
言語文化



高効率・低コスト太陽電池の作製に向けたSi 上Ⅲ-V族半導体の有機金属気相成長

金 ボラム

Kim Boram (韓国)

東京大学大学院
(博士) 電気系工学



多文化化する日本社会におけるアートと社会的包摂：外国人住民と関連した芸術表現活動を事例に

楊 淳婷

Yang Chun Tin (台湾)

東京藝術大学大学院
芸術環境創造

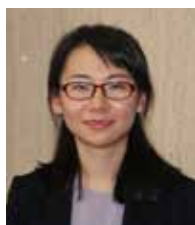


奈良平安朝前期の漢文学と文人

梁 奕華

Liang Yihua (中国)

東京外国語大学大学院
言語文化



民衆の歌：東日本大震災以降の社会運動に於けるポピュリズムとパフォーマンス

シンドストラン、ロヴェ

Kindstrand, Love (スウェーデン)

シカゴ大学大学院 (上智大学比較文化研究所)
比較文化研究



2017 年度奨学生 (2018 年 1 月 ~ 12 月)

「転形期」の歴史意識と思考：1930-40 年代、植民地朝鮮と「近代の超克」

閔 東曄

Min Dongyup (韓国)

東京大学大学院
地域文化研究



蓼科ワークショップ

2018年7月6日(金)～8日(日)
於：大興蓼科山荘

鳥がさえずり木々が息吹きする大自然の中で、2018年度奨学生の皆さんの親睦を兼ねた2泊3日の蓼科ワークショップを開催。今回のテーマは「大学・職場で問題が!? ハラスメントおよび差別にどう対応するか、考えよう」。MeToo運動の広がりの中で非常にタイムリーな議論となった。



諏訪大社4本の大きな御柱に囲まれながら参詣。ガラスの里に立ち寄ったのち、夕闇のころにチェルトの森に到着した。



まずはお互いを知ることから。一日目の夜はアイスブレイキングが行われ、各人が一人ひとり思いを語っていった。



今回のワークショップの企画者でもあるソイヤ・デール先生は、当事者として問題提起をした。



大学や職場における課題を取り上げ、どう反応したか、どう対応すべきだったのかなど検討。議論はなかなかまとまらない。



「皆と本気で考えたり悩んだりした時間は非常に有意義だった」「議論する楽しさや重要性を感じた」と語る参加者たち。



議論を導いてくれたファシリテーターたち、そして暖かくもてなしてくださった大興山荘に心から感謝。

真夏の夜の バーベキューパーティ

2018年7月28日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール

暑気払いと懇親会を兼ねてバーベキューパーティを開催。今年はいいにくの台風の接近で横殴りの風雨の中、財団の玄関前で〈焼き〉、2階の会場に運ぶという〈出前〉形式となったものの、賑やかな交流の宴は嵐に負けじと盛り上がった。



玄関前で〈焼き〉と〈出前〉に精を出す面々。焼きたてを味見しながら乾杯！ 立ち込める煙の中、会場に負けず盛り上がり。



2階の会場。ホタテや牡蠣、イカなどの海鮮、やきとり、ステーキ、ソーセージなどのご馳走に舌鼓を打ちながら会話が弾んでいく。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 07.28 真夏の BBQ 参照。

豊島プロジェクト 工事現場見学会

2018年11月13日（火）

於：池袋・豊島プロジェクト建築群

池袋駅にほど近い場所に建設中の「豊島プロジェクト」はA、B、Cの三つのビルディングからなる建築群である。見学の前に、鹿島建設の担当者から建設や工事に関する説明が行われ、A棟とB棟の中に実際に入って見学させていただいた。



豊島プロジェクトでは、決められた容積率から利益を最大化するために、B棟の空間を極力抑えて、その分の空間をA棟の上に移動することによって、プロジェクト全体の価値を最大化できるよう計画されている。また、現場全体から出る騒音は、「ここで本当にビルが建設されているのか」という（疑問を生じさせる）ほど静かだった。こうした設計や技術力に感心し、「非常に勉強になった」と語る参加者たち。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 11.13 豊島プロジェクト工事現場見学会報告 参照。

2019 新年会

2019 年 1 月 19 日 (土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール／中庭

渥美奨学生、ラクーンメンバー、家族及び財団スタッフの総勢 43 人が、鹿島新館・渥美財団ホールに集まり、楽しく新年と渥美伊都子理事長のお誕生日を祝った。台湾と中国の奨学生は朝からお正月用の餃子づくりに励み、テーブルには日本のおせちをはじめ、手作りの韓国のキムチやネパールのカレーなど、各国の料理が並んだ。



理事長が渥美家の家紋入りの重箱に盛られたおせち料理と正月に飲む「お屠蘇」を紹介。お屠蘇は一年の邪気を祓う効果があり、清らかな一年を迎えられるとされる縁起物。



中庭では恒例の餅つきも行われた。かわるがわる面白そうに杵をふるう面々。



理事長がお好きな紫色系統のさまざまな花をとり合わせた大きな花束をプレゼント。



理事長のお誕生日のお祝いは、2018 年の奨学生たちが花組とケーキ組に分かれて準備。ケーキ組からは、フランス風の四種類の風味が楽しめる特注ケーキが贈られた。



今年はケーキと花束のほか、「理事長の似顔絵」のサプライズプレゼントも。色紙に綺麗に似顔絵を描いたのは芸大の楊さん。絵の回りには花形の小さなシールにそれぞれの出身国の言語でお祝いの言葉を書いたものを貼り付けて、皆で祝福の気持ちを添えた。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2019. 01. 19 2019 年新年会報告 参照。

ラクーン会

世界各地で開かれる渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2018年度は、ソウル、北京、京都、神戸、福岡で開催され、話題の尽きない楽しい時間を過ごし、旧交を温めあった。

ラクーン会@韓国 2018年6月26日(火)



8月のアジア未来会議(AFC)の打ち合わせを兼ねて、韓国ラクーン会を開催。金雄熙(KSR会長、96狸)、鄭成春(00狸)、高熙卓(00狸)、韓京子(05狸)、金崇倍(11狸)、趙国(15狸)、今西常務理事、角田事務局長の8名が集まった。

ラクーン会@京都 2018年10月27日(土)



李周浩さん(98狸)の呼びかけにより、京都奈良滋賀等関西在住ラクーン、第3回東アジア日本研究者協議会国際学術大会(EACJS)参加のラクーンなど総勢17人が参集。第1期生から今年度奨学生まで、なんと23年の差!賑やかに旧交を温めた楽しい夜だった。

ラクーン会@神戸 2018年10月28日(日)



三ノ宮駅の近くの隠れ家のようなイタリアレストランで、初めてのラクーン会@神戸を開催。金外淑さん(97狸)、張紹敏さん(97狸)とご家族、武玉萍さん(00狸)、オフォスさん(17狸)と今西常務理事が参加。これを皮切りに、また集まりましょうと盛り上がった。

ラクーン会@北京 2018年11月23日(金・祝)



チャイナフォーラム「日中映画交流の可能性」の前夜、ラクーン会@北京を開催。ゲストの刈間文俊先生、社会科学学院の苗静さん、そして金熙さん(95狸)、孫建軍さん(02狸)、朴貞姫さん(03狸)、林少陽さん(03狸)、劉健さん(08狸)、ソンヤさん(12狸)、顔淑蘭さん(15狸)、陳えんさん(17狸)、今西常務理事が集まった。

ラクーン会@福岡 2018年12月8日(土)



福岡市天神で九州初めてのラクーン会を開催。会議で福岡を訪問中の岩崎統子評議員と今西常務理事、福岡在住の柳忠熙さん(14狸)と楊昱さん(15狸)に加え、大分から包聯群さん(05狸)と鹿児島から李志炯さん(26狸)も駆けつけてくださった。遠路ありがとう!健康第一の薬膳料理を楽しみながら福岡の住みやすから結婚の必要性まで話題は広く、尽きることがなかった。

ラクーン会@ソウル 2019年3月23日(土)



日韓アジア未来フォーラムに先立ち、ラクーン会@ソウルが『韓一館光化門店』で開かれた。予約していた個室では入りきらない8名が集い、「テーブルの脚が折れるほど料理を並べる」という言葉のごとく、次から次から運ばれてくるお料理にテーブルは一杯に!ランチにはもったいない美味しい、ぜいたくな時間を過ごした。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2018 ~ 2019 のバックナンバー 参照。

国際交流事業

良き地球市民の実現をめざす

渥 美財団の国際交流活動の中心を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは世界各国から渡日し、長い留学生生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究を推進する学術交流事業を行い、その成果を会議、フォーラム、レポート、ホームページ等で広く世界に発信しています。日本国内だけでなくアジアを中心に海外拠点を設けて活動しています。

SGRAは、ある一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な研究交流活動を狙いとしています。良き地球市民に貢献することがSGRAの目標です。

2018 年度の主な活動

● 第4回 アジア未来会議 p13

第59回SGRA フォーラム

第60回SGRA フォーラム

● 第8回 日台アジア未来フォーラム p18

● 第12回 SGRAチャイナ・フォーラム p19

● 第18回 日韓アジア未来フォーラム p19

● 第3回 東アジア日本研究者協議会 国際学術大会に参加 p20

● 第11回SGRA カフェ p21

● 第7回SGRA ふくしまスタディツアー p21

● 第61回SGRA フォーラム p22

● 第62回SGRA フォーラム p23

SGRAの概要

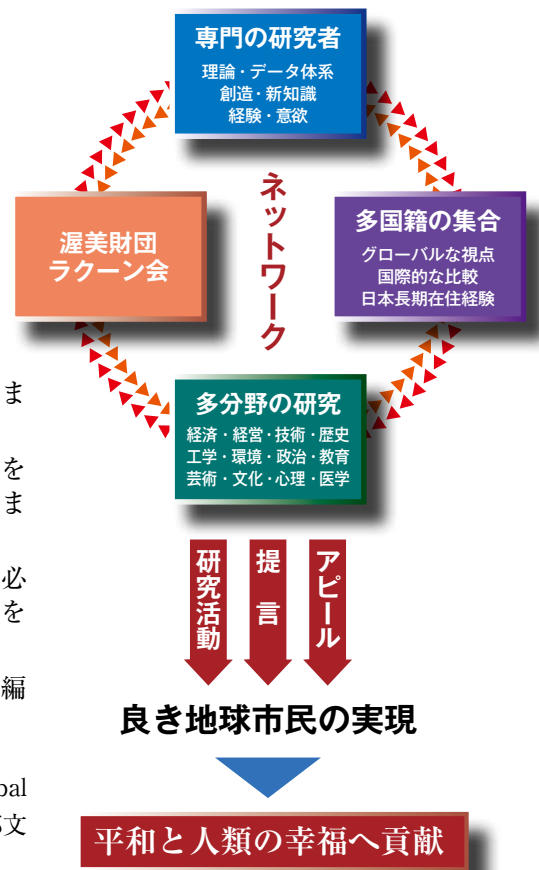


SGRAは、渥美財団の事業資金と法人・個人からの寄附金、諸機関からの各プロジェクトに対する助成金、その他の収入を運営資金として、運営委員会、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を展開しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 運営委員会は、本会の目指す目標に合致する研究カテゴリーを選定し、適宜にプロジェクトチームを編成し、事業を推進します。
3. プロジェクトチームは、SGRAメンバーにより構成され、必要に応じて他の参加者を求め、事業を推進し、広く情報発信を行います。
4. プロジェクトチームは、個別プロジェクトの実施組織として編成されます。

SGRAは、渥美国際交流財団関口グローバル研究会（Sekiguthi global Research Association）の略称です。渥美財団の所在地である東京都文京区関口から世界に向かってグローバルな課題を発信します。

SGRAの特徴



主な事業

アジア未来会議

日本に留学経験のある研究者、日本に関心のある若手研究者、学生が一堂に集い、アジアの未来、地球社会の未来を学際的・国際的な視点から語り合う《場／プラットフォーム》です。2012年度から隔年度にアジアの主要都市で開催されています。

海外の研究機関等との共同プロジェクト

■ 日台アジア未来フォーラム

台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。

■ SGRA チャイナ・フォーラム

中国各地の大学や研究機関と共同で毎年開催。文化交流の過去、現在、未来を再検討するフォーラム。

■ 日韓アジア未来フォーラム

韓国（財）未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。

■ 日比共有型成長セミナー

1970年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。

SGRA フォーラムなどの学術交流事業

以下の8つのカテゴリーから導き出されるテーマに沿った円卓会議やフォーラムなどの学術交流活動を行います。

- ・グローバル化と地球市民
- ・構想アジア
- ・環境とエネルギー
- ・科学技術と人間社会
- ・東アジアの人材育成
- ・東アジアの安全保障と世界平和
- ・宗教と現代社会
- ・ジェンダーと社会

SGRA スタディツアーや SGRA カフェなど

SGRA ふくしまスタディツアーやSGRA カフェなどを随時実施しています。

第4回アジア未来会議

平和、繁栄、そしてダイナミックな未来

日時：2018年8月24日（金）～28日（火）

場所：韓国ソウル市・The K Hotel

主催：（公財）渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：韓国社会科学協議会、（財）未来人力研究院

後援：文部科学省、在韓国日本大使館、ソウルジャパンクラブ

助成：（一社）東京倶楽部

協力：CISV Korea、（公財）本庄国際奨学財団、Doalltec（株）、グローバルBIM（株）

協賛：POSCO 建設（株）、HAEAHN Architecture（株）、（株）NI スティール、中外製薬（株）、三菱商事（株）、東京海上ホールディングス（株）、コクヨ（株）、鹿島道路（株）、大興物産（株）、鹿島建物総合管理（株）、イースト不動産（株）、Kajima Overseas Asia Pte（株）、鹿島建設（株）



21 カ国から379名の登録参加者を得て開催。アジアの「平和と繁栄、そしてダイナミックな未来」に寄与することを願って、広範な領域における課題に取り組み、基調講演とシンポジウム、招待講師による円卓会議、そして数多くの研究論文の発表が行われ、国際的かつ学際的な議論が繰り上げられた。



開会式・基調講演・シンポジウム

25日午後2時、明石康大会会長が第4回アジア未来会議の開会を宣言。共催の韓国未来人力研究院の李鎮奎理事長の歓迎の挨拶と、長嶺安政在韓国日本大使からのご祝辞をいただいたのち、「AIと人間の心、そして未来」と題した基調講演およびシンポジウムを開催。オープニングセレモニーの締めくくりには、韓国伝統楽器によるジャズの演奏会が行われ、会場いっぱいの聴衆が大迫力のサウンドに魅了された。



400人を超える参加者を前に、開会を宣言する明石康大会会長。その後、歓迎の挨拶と祝辞が続いた。



基調講演は、慶熙サイバー大学の鄭智勲教授「AIの今、そして未来」、ソウル大学の金起顯教授「AIと人間の心」の2本立て。



シンポジウムでは、韓国社会科学協議会の朴賛郁会長の進行でAIが社会に与える影響が議論された。



HONA というグループによる韓国伝統楽器を用いたジャズのコンサート。次第に熱を帯びる演奏は迫力満点。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 第4回アジア未来会議報告 参照。

第4回 アジア未来会議

ウェルカムパーティ

オープニングセレモニーの後、屋上庭園で立食形式のウェルカムパーティーが開かれた。フードコーナーには韓国料理のご馳走も並べられ、台風一過の快晴の空の下、ジャズの生演奏を聴きながらの楽しい交流が夜遅くまで続いた。久しぶりに会う懐かしい顔を見つけては、渥美財団の活動を通して育んできた国境を超えた絆を確かめ合った。



円卓会議 A・B

25日の午前と26日午前・午後の2日間にわたって、A・B2つの円卓会議（第59回、第60回 SGRA フォーラム）が同時開催された。どちらの会場も多数の参加者が集まり、議論が繰り広げられた。

第3回日・中・韓における国史たちの対話の可能性

第59回 SGRA フォーラム

「日・中・韓における国史たちの対話の可能性」全5回シリーズの第3回めとなる今回は、「17世紀東アジアの国際関係―戦乱から安定へ―」というテーマが設定され、「壬辰・丁酉倭乱」と「丁卯・丙子胡乱」という国際戦争（戦乱）を取上げ、各国が17世紀中頃以降いかに安定を達成したかを検討した。



2日間で6つのセッションが展開された。第1セッションは趙珖先生の基調講演（上段）。第2セッション（下段左）のテーマは「壬辰倭乱」。第3セッション（下段中）のテーマは「胡乱」。第4セッション（下段右）のテーマは「国際関係の視点から見た17世紀の様相」。



第5セッションの総合討論では、発表者が考える歴史解釈の問題から具体的な論点まで多様な視点からの質疑応答が続いた。



第6セッションの「歴史和解セッション」では、歴史の和解に向けての歴史共同研究のネットワークの可能性について検討した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
金キョン泰「第3回『国史たちの対話の可能性』円卓会議報告」参照。

第2回東南アジア宗教間の対話

第60回 SGRA フォーラム

今回のテーマは「寛容と和解—紛争解決と平和構築に向けた宗教の役割」。対立や紛争の原因が政治経済的な課題であるにもかかわらず、宗教の対立としての様相を帯びることが数多くある。それは宗教が対立する民族や集団の基層文化のなかに深く根ざしているからにほかならないという問題意識により、ミャンマー、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの紛争解決、平和構築の経験及び研究をベースとして和解、平和構築に向けた宗教および宗教者の役割、そして「平和と和解」への途を探った。



会議は英語で行われ、タイ、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、フィリピンの事例発表が行われた。対話の鍵を握るのは、宗教教義を「解釈する力」であるという指摘もあり、宗教の有する多面性を理解した上で、今日の世界にあう創造的な解釈力が、それぞれの宗教において求められている。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
第4回アジア未来会議 東南アジア宗教間の対話円卓会議「寛容と和解—紛争解決と平和構築に向けた宗教の役割」報告 参照。

第4回 アジア未来会議

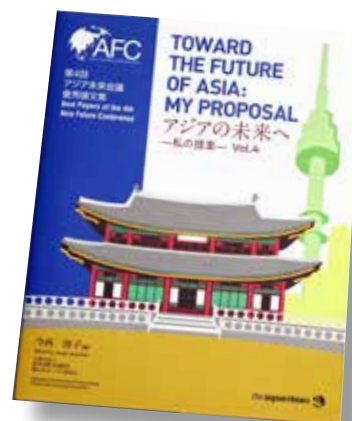
パラレルセッション 分科会

8月26日（日）午前9時から、12の小会議室を使って、分科会が行われた。25日の午前中と26日合わせて、7グループセッション、6学生セッション、43一般セッションが行われ、224本の論文発表が実施された。アジア未来会議は国際的かつ学際的なアプローチを目指しており、各セッションは、発表者が投稿時に選んだ「平和」「幸福」「イノベーション」などのトピックに基づいて調整され、学会とは趣を異にした、自由で活発な議論が展開された。



クロージングパーティ／ 授賞式

クロージングパーティは26日午後6時半からピアノの演奏で始まり、今西淳子 AFC 実行委員長の会議報告のあと、共催の韓国社会科学協議会の朴賛郁会長のご発声で乾杯をして会の成功を祝った。宴もたけなわの頃、優秀賞の授賞式が行われ、優秀論文の著者19名が壇上に上がり、明石康大会委員長から賞状の授与が行われた。続いて、優秀発表賞48名が表彰された。



『第4回アジア未来会議優秀論文集』

《第5回アジア未来会議》

日時：2020年1月9日（木）～13日（月）

開催地：フィリピン／メトロ・マニラ アラバン及び
ラグナ州ロスバニョス

テーマ：持続的な共有型成長

— みんなの故郷（ふるさと）、みんなの幸福（しあわせ） —

クロージングパーティーの終盤、次回の第5回アジア未来会議の概要の発表が行われた。フィリピン大学ロスバニョス校総長自らの歓迎ビデオと、実行委員会からの挨拶、そしてフィリピンからの参加者全員が会場も巻き込んでフィリピン版カンナムスタイルを踊り、会場は大いに盛り上がった。



スタディツアー

8月27日（月）、参加者はそれぞれ、非武装地帯スタディツアー、ソウル伝統建築ツアー、ソウル市内観光、南漢山城スタディツアー、NANTA鑑賞などに参加した。



運 営

第4回アジア未来会議の運営にあたっては、ラクーンを中心に実行委員会、学術委員会が組織され、フォーラムの企画から、ホームページの維持管理、優秀賞の選考、当日の受付まであらゆる業務を担当した。特に韓国出身のラクーンには翻訳やビザ招待状の手配から、当日の会議進行における雑務まで、多大なご協力をいただいた。



第8回日台アジア未来フォーラム

グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性

日時：2018年5月25日（金）午後（特別講演会）、
26日（土）終日（国際シンポジウム）

会場：東呉大学外双溪キャンパス第一教学研究棟普仁堂（大講堂）

主催：東呉大学日本語学科、東呉大学図書館、
（公財）渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共催：東呉大学英文学科、東呉大学教養教育センター

後援助成者：中華民国教育部、（公財）国際交流基金、（公財）日本台湾交流協会、中鹿營造股份有限公司、中華民國三三企業交流會、台日商務交流協進會、台灣住友商事股份有限公司、全日本空輸股份有限公司台北支店、ケミカルグラウト株式会社、みずほ銀行 台北支店、Kajima Overseas Asia Pte. Ltd.

名義賛助者：台湾日本人会、台北市日本工商会

2011年5月から8年連続の開催となる「日台アジア未来フォーラム」は、台湾ラクーンが中心となって活動している知日派外国人研究者の研究ネットワークである。今回のフォーラムでは、世界規模・地球規模に広がったマンガ・アニメ文化の魅力に着目し、「グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性—コミュニケーションツールとして共有・共感する映像文化論から学際的なメディアコンテンツ学の構築に向けて—」というテーマで活発な議論が展開された。



シンポジウムの前夜祭として設けた漫画家特別講演会には日本マンガ界きっての「神級名師」である弘兼憲史先生をお招きした。



フォーラム開催に先立ち、読書感想文コンクールや質問大募集キャンペーンなども行われ、大学史上最高の盛り上がりを見せた。



26日【午前の部】では、日本・韓国・中国から招致した研究者による基調講演会に続き、パネルディスカッションを開催。



パネルディスカッションでは、6名のパネリストが台湾、日本、中国、そして韓国という多文化的視点から議論を掘り下げていった。



【午後の部】では、3会場それぞれ2つのセッションを構成。合計18本の論文発表が行われた。



同日夜、東呉大学市内キャンパス近くで懇親会を開催。世界中からラクーン11名も駆けつけて、60名を超える大盛況となった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 張桂娥「第8回日台アジア未来フォーラム『グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性報告<その1>」、同<その2>、同<その3> 参照。

第12回 SGRA チャイナ・フォーラム

日中映画交流の可能性

日 時：2018年11月24日（土）午後2時～5時
会 場：人民大学逸夫会堂
主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
共 催：人民大学文学院、清華東亜文化講座
助 成：国際交流基金北京日本文化センター



刈間教授は「中国映画が日本になにをもたらしたのか——過去・現在・未来」というテーマで中国映画の日本進出の状況を紹介。



王衆一先生は「中国における日本映画——交融・互鑑・合作」というテーマで、日本映画が中国映画に及ぼした影響を語った。



パネルディスカッションでは登壇者が自分の日中映画交流に対する理解と自分自身の研究領域とを繋いで議論した。



「日本人の中国映画オタクと中国人の知日派メディア人の会話が珍しく、中身の濃い内容だった」との評価をいただいた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
陳襲「第12回 SGRA チャイナ・フォーラム『日中映画交流の可能性』報告」参照。

第18回 日韓アジア未来フォーラム

日韓関係の現在地と改善案

日時：2019年3月23日（土）午後2時～5時
会場：未来人力研究院会議室（韓国ソウル）
主催：（財）未来人力研究院
共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）



ここ最近の日韓関係の悪化を危惧して、急遽開催。基調講演は国民大学の李元徳教授（左）と東京大学の木宮正史教授（右）のお二人に。



「日韓の関係者が集まって仲良く話すだけでなく、リスクをとって発言・行動していかなければならない」との発言もなされた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
金雄熙「第18回日韓アジア未来フォーラム『日韓関係の現在地と改善案』報告」参照。

第3回東アジア日本研究者協議会 国際学術大会に参加

日時：2018年10月26日（金）～28日（日）
会場：国際日本文化研究センター（26日）、京都リサーチパーク（26日、27日、28日）
主催：東アジア日本研究者協議会、国際日本文化研究センター
共催：独立行政法人国際交流基金

東アジア日本研究者協議会は、東アジアの日本研究関連の学術と人的交流を目的として2016年に発足。日本研究の質的な向上、自国中心の日本研究から多様な観点に基づく日本研究への志向、東アジアの安定と平和への寄与の3つを目的としている。SGRAも同協議会の理念に賛同し、共同パネルに下記2パネルが参加した。

参加パネル1 現代日本社会の「生殖」における男性の役割—妊娠・出産・育児をめぐるナラティブから



参加パネル1では、現代日本において、妊娠・出産・育児における男性の役割がどのように語られているか、社会学と文学のそれぞれの視点から、考察した。

参加パネル2 アジアにおける日本研究者ネットワークの構築—SGRA（渥美国際交流財団）の取り組みを中心に



参加パネル2では、早稲田大学の劉傑先生の司会のもと、SGRAがアジアを中心に取り組んでいるネットワークの構築について紹介し、交流事業のあり方についての議論が交わされた。



最初の発表は金雄熙氏（左）による「日韓アジア未来フォーラム」について。続いてフェルディナンド・マキト氏（右）から「日比共有型成長セミナーの経緯、現状と課題」が発表された。



3番目の発表は「SGRA チャイナフォーラム」が発足した当初から舵を取ってきた孫建軍氏（左）。4番目の最終発表は張桂娥氏（右）が「日台アジア未来フォーラム」について報告を行った。



中国文化大学学長の徐興慶先生、国際日本文化研究センターの稲賀繁美先生からは「SGRAの試みは、日本の国際的学術組織が目指すべき姿に示唆をあたえるもの」と高く評価していただいた。

詳細はSGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> グアリーニ & ファスベンダー「第3回東アジア日本研究者協議会パネル『現代日本社会の『生殖』における男性の役割—妊娠・出産・育児をめぐるナラティブから』報告」張桂娥「第3回東アジア日本研究者協議会パネル報告『アジアにおける日本研究者ネットワークの構築』報告」参照。

第11回 SGRA カフェ

日中台の微妙な三角関係

日時：2018年7月28日（土）午後3時～4時30分

会場：渥美国際交流財団 / 鹿島新館ホール

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRA カフェは、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺う＜場＞として開催している。11回目の今回は、日中関係と日台関係はどのような関係にあるのか。日本でも注目される中台関係は良くも悪くも日中関係にも影響を与えているが、いったい複雑で微妙な日中台中台三角関係をいかに捉えればよいのか。共に考える機会となった。



講師を務めたのは、「辺境東アジア」アイデンティティという概念を考案された林泉忠先生（台湾・中央研究院近代史研究所副研究員）。渥美財団の元奨学生でもある。



元外交官や、経済交流の実務家など参加者からも自らの体験・展望が語られ、講師の議論を補完した。



詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
李彦銘「第11回 SGRA カフェ『日中台の微妙な三角関係』報告」参照。

第7回 SGRA ふくしまスタディツアー

「ふるさと」に帰る…

日程：2018年5月25日（金）、26日（土）、27日（日）

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

協力：ふくしま再生の会

2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを行っている。そして、その体験や考察をもとに SGRA ワークショップ、SGRA フォーラム、SGRA カフェなど、さまざまな催しを展開している。



「ふくしま再生の会」の理事長田尾陽一さんの案内で、未だに帰還が禁止されている区域である長泥のゲートを訪れた。



牛の放牧実験場、花のハウス栽培やメガソーラー、山津見神社などを見学し、再生の会と村の方々のお話を伺い、田植えを体験した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
江永博「第7回 SGRA ふくしまスタディツアー『<ふるさと>に帰る』報告」参照。

第 61 回 SGRA フォーラム

日本の高等教育のグローバル化!? ーグローバル人材育成とはなんだろうか

会期：2018 年 10 月 13 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 30 分
会場：早稲田大学国際会議場第一会議室
主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
助成：鹿島学術振興財団



沈雨香・早稲田大学助手から、送り出し／受け入れ留学を通じた大学のグローバル化とグローバル人材育成への問題提起が行われた。



吉田文・早稲田大学教授（左）の基調講演では、グローバル人材育成の主体の変遷や今後の課題が語られた。シン・ジョンチョル・国立ソウル大学教授（右）は韓国人大学生の海外留学について講演。



関沢和泉・東日本国際大学准教授（左）からは小規模私立大学における留学プログラムについて発表。関西外国語大学のムラット・チャックル講師（右）は関西外国語大学の実践と成果を報告。



ご自身の民間機関の実践事業例を紹介する金範洙・東京学芸大学特命教授（左）と、フリーディスカッションのモデレーターを務めた、昭和女子大学のシム・チュンキャット准教授（右）。



続いて行われたフリーディスカッションでは、参加者と登壇者の間で積極的な意見交換が行われた。



白熱した議論は、グローバル人材の定義、さらなるグローバル化が進む現代社会の在り方など、問題意識を喚起させるものであった

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
沈雨香「第 61 回 SGRA フォーラム『日本の高等教育のグローバル化!?』報告」参照。

第62回 SGRA フォーラム APYLP x SGRA ジョイント・セッション

再生可能エネルギーが世界を変えるとき……？ —不都合な真実を越えて—

日時：2019年2月2日(土) 午前10時30分～午後5時30分
会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール
共催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)
国際文化会館アジア パシフィック ヤング リーダーズ プログラム (APYLP)

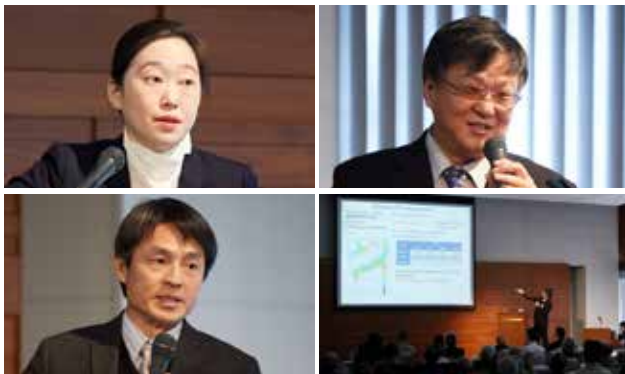
SGRA は 2018 年度から国際文化会館が主宰するアジア パシフィック ヤング リーダーズ プログラム (APYLP) に参画。今回のフォーラムは APYLP と SGRA のジョイント・セッションとして開催した。元渥美奨学生に加え、ドイツやオーストラリア、福島県飯館村からスピーカーが集まり、「再生可能エネルギー社会実現の可能性」を、国際政治・経済・環境・科学技術 (イノベーション)、「エネルギーとコミュニティ」の視点から総合的に考察した。



午前中のセッションは、120名の会場が満杯となる盛況の中、デール・ソンヤ氏（一橋大学講師）の司会、今西淳子常務理事・SGRA 代表の挨拶で始まった。



基調講演は、ルウェリン・ヒューズ氏（オーストラリア国立大学准教授）とハンス＝ジョセフ・フェル氏（グローバルウォッチグループ代表、元ドイツ緑の党連邦議員）のお二人。



第1セッションでは、朴准儀氏、高偉俊氏、葉文昌氏3名のラークン（元渥美奨学生）の研究発表が行われた。



第2セッションでは、飯館村村会議員佐藤健太氏と飯館電力の近藤恵氏より、福島県飯館村での再生エネルギー事業が紹介された。



「国際政治経済の視点から」、「環境・イノベーションの視点から」、「コミュニティの視点から」の3分科会に分れて、熱い議論を展開。



最後に、発表者・参加者全員が一堂に会し、3分科会での議論の内容を各部会代表者が発表。皆で課題を共有した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 角田英一「第62回 SGRA フォーラム・APYLP + SGRA ジョイントセッション「再生可能エネルギーが世界を変える時…？—不都合な真実を越えて」報告」参照。

財団運営

2018年度 業務日誌

4月6日	4月例会：最初の食事会（於：学習院大学内目白倶楽部）
5月9日～14日	5月例会：個人面談
10日	SGRA レポート第82号「第2回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性—蒙古襲来と13世紀モンゴル帝国のグローバル化」発行（韓国語版は5月10日、中国語版は8月22日発行）
19日	第25回理事会（於：アルカディア市ヶ谷）
25日～27日	第7回ふくしまスタディツアー「ふるさとに帰る」（於：福島飯館村）
25日～26日	第8回日台アジア未来フォーラム「グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性」（於：台湾台北市東吳大学）
6月1日	2017年度年報発行
7日	第9回評議員会（2017年度事業報告と決算報告その他）・親睦会（6月例会）（於：鹿島KIビル）
7月1日	2019年度奨学生募集要項配布（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）
6日～8日	蓼科ワークショップ「大学・職場で問題が！？ハラスメントおよび差別にどう対応するか、考えよう」（於：蓼科大興山荘）
28日	第11回 SGRA カフェ「日中台の微妙な三角関係」・真夏の夜のバーベキュー（8月例会）（於：渥美財団ホール）
8月24日～28日	第4回アジア未来会議「平和、繁栄、そしてダイナミックな未来」（於：韓国ソウル市Kホテル）
9月1日	2019年度奨学生応募受付開始
3日～7日	9月例会：個人面談
28日	2019年度奨学生応募締め切り（応募者総数100名）
10月5日	10月例会：食事会（於：ジャスミンタイ・タイ料理）
6日～9日	2019年度奨学生書類審査
13日	第61回 SGRA フォーラム「日本の高等教育のグローバル化！？」（於：早稲田大学国際会議場）
26日～28日	第3回東アジア日本研究者協議会国際学術会議の2パネル参加（於：京都リサーチパーク）
31日～7日	2019年度奨学生候補者予備面接
11月13日	11月例会：建設工事現場「豊島プロジェクト」見学会
16日	SGRA レポート第83号「アジアを結ぶ？『一帯一路』の地政学」発行
24日	第12回 SGRA チャイナ・フォーラム「日中映画交流の可能性」（於：中国人民大学）
12月1日	2019年度奨学生最終選考会
3日～7日	12月例会：個人面談
15日	第26回理事会・忘年会（於：渥美財団ホール）
1月19日	新年会（1月例会）（於：渥美財団ホール）
2月2日	第62回 SGRA フォーラム・APYLP × SGRA ジョイントセッション（2月例会）「再生可能エネルギーが世界を変える時…？—「不都合な真実」を越えて—」（於：国際文化会館）
3月2日	第27回理事会（於：リーガロイヤルホテル東京）
	2018年度奨学生研究報告会（3月例会）（於：渥美財団ホール）
13日	2018年度最後の食事会（於：神楽坂メゾン・ド・ラ・ブルゴーニュ）
23日	第18回日韓アジア未来フォーラム「日韓関係の現在地と改善案」（於：韓国ソウル市未来人力研究院会議室）

財務諸表

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	8,205,348
2 固定資産	
(1) 基本財産	3,840,187,027
(2) 特定資産	247,368,662
固定合計	4,087,555,689
資産合計	4,095,761,037
II 負債の部	
1 流動負債	2,758,118
2 固定負債	4,992,000
負債合計	7,750,118
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	4,087,555,689
(うち基本財産への充当額)	(3,840,187,027)
(うち特定資産への充当額)	(247,368,662)
2 一般正味財産	455,230
正味財産合計	4,088,010,919
負債及び正味財産合計	4,095,761,037

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	64,176,730
特定資産運用益	658,592
事業収入	21,987,905
受取補助金等	2,458,000
受取寄附金	40,335,800
為替差益	139,251
雑収益	57,261
経常収益計	129,813,539
(2) 経常費用	
事業費	124,061,138
管理費	5,752,401
経常費用計	129,813,539
評価損益等調整前当期経常増減額	0
評価損益等計	0
当期経常増減額	0
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	455,230
一般正味財産期末残高	455,230
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	75,898,000
基本財産運用益	104,000,000
基本財産評価損益等	▲ 680,000,000
特定資産評価損益等	6,848
一般正味財産への振替額	▲ 78,851,012
当期指定正味財産増減額	▲ 578,946,164
指定正味財産期首残高	4,666,501,853
指定正味財産期末残高	4,087,555,689
III 正味財産期末残高	4,088,010,919

財団人名簿

(2019 年 3 月 31 日現在)

評議員

渥美直紀	評議員会長、鹿島建設株式会社代表取締役副社長
明石 康	公益財団法人国立京都国際会館理事長
秋山 豪	元鹿島建設株式会社取締役専務執行役員
渥美雅也	一般財団法人東京水産振興会会長
蟻川芳子	学校法人日本女子大学理事長
岩崎統子	公益社団法人 CISV 日本協会副会長
加藤秀樹	一般社団法人構想日本代表
鹿取克章	外務省参与（元駐インドネシア大使）
佐藤直子	東京国際大学教授
田村次朗	慶應義塾大学法学部教授
遠山友寛	弁護士 TMI 総合法律事務所パートナー
永山 治	中外製薬株式会社代表取締役会長
堀田健介	株式会社堀田総合事務所代表取締役会長
八城政基	元株式会社新生銀行取締役会長
山本尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事 事務局長

監事

上野 宏	株式会社村田製作所取締役 監査等委員
中村金郎	鹿島建設株式会社 顧問

理事

渥美伊都子	理事長
今西淳子	常務理事
片岡達治	元癌研究会研究員
金 外淑	兵庫県立大学看護学部心理学系教授
高 偉俊	北九州市立大学国際環境工学部教授
嶋津忠廣	前渥美国際交流財団事務局長
高橋 甫	公益財団法人 日本テニス協会常務理事
平川 均	名古屋大学名誉教授
藤井純一	公益財団法人かめのり財団理事
李 恩民	桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授
角田英一	事務局長

選考委員

畑村洋太郎	委員長、東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所代表 (産業機械工学)
井上博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事 (情報工学)
片岡達治	(理事) (薬学)
佐野みどり	学習院大学教授 (美術史)
田村次朗	(評議員) (法学)
平川 均	(理事) (経済学)

奨学生名簿

【1995 年度奨学生】

Bambling, Michele バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女：コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史)：(在アブダビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在横須賀)

Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

Jin Xi 金 熙 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理情報学)：Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-Woo 郭 在祐 [韓国] 男：学習院大学 [博士] (美術史)：日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男：東京大学 [博士] (経済学)：フィリピン大学ロスバニョス校准教授 (在フィリピン、ロスバニョス)

Park Chul-Ju 朴 哲主 [韓国] 男：慶應大学 [博士] (商学)：三育大学経営学部副教授(サパティカル中)京都大学経済研究所共同研究者(在京都)

Park Jung-Ran 朴 貞蘭 [韓国] 女：日本女子大学 [博士] (社会福祉学)：仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

Shi Jianming 施 建明 [中国] 男：筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学)：東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉 会 [中国] 男：早稲田大学 (日本文学)：法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee 尹 錫姫 [韓国] 女：専修大学 [博士] (商学)：仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曉 [中国] 男：神戸大学 (医学)

Horng Der-Juinn 洪 徳俊 [台湾] 男：神戸大学 [博士] (経営学)：国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

Wang Libin 王 立彬 [中国] 男：神戸大学 (自然科学)：(株) 東洋インキ製造 (在上海)

【1996 年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチョテ ビラバット [タイ] 男：慶應義塾大学 [博士] (法学)：タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ、セリム [トルコ] 男：東京大学 (政治学)：コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ コンヤ市)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (応用物理)：Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

Kim Woong-Hee 金 雄熙 [韓国] 男：筑波大学 [博士] (国際政治経済学)：仁荷大学校国際通商学部教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan Huey 李 來賛 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (管理工学)：漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南 基正 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際関係論)：ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

Park Keun-Hong 朴 根弘 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬 辛 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] 女：ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙 青 [中国] 女：お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 男：東京大学 [博士] (船舶海洋工学)：日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

【1997 年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女：東京工業大学 [博士] (日本語教育)：ナポリ東洋大学アジア、アフリカ、地中海学学科准教授 (在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (言語学)：(在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサンアント、ウィヌルシト [インドネシア] 男：慶應義塾大学 [博士] (応用化学)：インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所：(在インドネシア)

Kim Woe-Sook 金 外淑 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (健康科学)：兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブラナキット (ノイ) [タイ] 女：筑波大学 [博士] (言語学、日本

語教育)：チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李 香哲 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 男：一橋大学 [博士] (社会学)：桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男：東京大学 [博士] (応用化学)：キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王 岳鵬 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男：ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学)：南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンゼルス)

Zhang Shao-min 張 紹敏 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：(株) 渥盤会館代表 (在岡山)

【1998 年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男：東京大学 [博士] (政治学)：ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：株式会社北京 NTT データジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学)：上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (文学)：名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

Kim Jaesung 金 宰晟 [韓国] 男：東京大学 (仏教学)：仏教大学院大学 (在ソウル)

La Insook 羅 仁淑 [韓国] 女：早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学)：国士舘大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

Lee Joo-Ho 李 周浩 [韓国] 男：東京大学 [博士] (電子工学)：立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリーサ [中国(内モンゴル)] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：昭和女子大学国際学部国際学科教授

Sun Yanping 孫 艶萍 [中国] 女：東京大学 [博士] (医学)：コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

Wu Hongmin 呉 弘敏 [中国] 女：東京工業大学 [博士] (精密工学)：フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 曉原 [中国] 女：東京大学 [博士] (農業生命科学)：コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999 年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：ペルナンブコ州立大学農学部応用遺伝子研究室助教授 (在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍 [韓国] 女：東京工業大学 [博士] (化学環境工学)：韓国環境省 (在ソウル)

Hou Yankun 侯 延昆 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理電子工学／薬学)：UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具 延 [中国] 男：筑波大学 [博士] (農学)：メッツォペーパージャパン (株)

Li Gangzhe 李 鋼哲 [中国] 男：立教大学 (経営学／経済学)：北陸大学未来創造学部教授 (在金沢)

Musikasinthorn, Prachya ムシカシントーン、プラチヤー [タイ] 男：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：カセサート大学水産学部助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女：一橋大学 [博士] (地域研究)：ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王 旦 [中国] 男：東京藝術大学 [博士] (音楽)：パイオリニスト／昭光物産 (株)

Yang Jie Chi 楊 接期 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (教育工学)：国立中央大学網路学習科技研究所教授 (在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (電子物理工学)：島根大学総合理工学研究科准教授 (在松江)

Zhou Haiyan 周 海燕 [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士] (医学)：たてやまクリニック院長 (在富山県)

【2000 年度奨学生】

Jin Zhengwu 金 政武 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物質科学)：ソニー株式会社

Jung Jae Ho 鄭 在皓 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (物質科学)：三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

Jung Sung Chun 鄭 成春 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：対外経済政策研究院 (KIEP) (在ソウル)

Ko Hee Tak 高 熙卓 [韓国] 男：東京大学 [博士] (総合文化)：(株) グローカル・ニュース (Glocal News) 代表理事 (在済州)

Lim Chuan-Tiong 林 泉忠 [香港] 男：東京大学 [博士] (国際政治学)：武漢大学国際問題研究院教授、副院長・日本研究センター執行主任 (在中国)

Molnar, Margit モルナール、マルギット [ハンガリー] 女：慶應義塾大学 [博士] (経済学)：OECD 研究員 (在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 男：東京大学 [博士] (電子情報)：工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男：群馬大学 [博士] (医学)：ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

Suzuki Sato, Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女：慶應義塾大学 (経済学)：(在東京)

Wu Yuping 武 玉萍 [中国] 女：千葉大学 [博士] (医学)：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐 向東 [中国] 男：立教大学 [博士] (社会学)：(株) 中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾 支農 [中国] 男：東京大学 [博士] (アジア文化)：湖北省留学人員聯誼会会長 (在武漢)

【2001 年度奨学生】

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国 (内モンゴル)] 男：早稲田大学 [博士] (東洋史)：滋賀県立大学人間文化学部教授 (在彦根市)

Fan Jianting 範 建亭 [中国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：上海財經大學国際工商管理學院助教授 (在上海)

Jeon Jin Hwan 全 振煥 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (建築材料)：鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣 恵玲 [中国] 女：横浜国立大学 [博士] (電子情報工学)：(株) NTT ドコモ研究開発センター主査

Jin Xianghai 金 香海 [中国] 男：中央大学 [博士] (政治学)：逝去
Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男：東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学)：パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李 炫瑛 [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (比較文化)：建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-Suk 李 英淑 [韓国] 女：筑波大学 [博士] (教育学)：(在釜山)

Liang Xingguo 梁 興国 [中国] 男：東京大学 [博士] (化学生命工学)：中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユ ティ ルイン [ミャンマー] 男：東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学)：ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長 (在ヤンゴン)

Qi Jin Feng 奇 錦峰 [中国 (内モンゴル)] 男：東京医科歯科大学 [博士] (薬理学)：広東藍島生物技術公司 Director of Center for Primates R&D, Deputy VGM (在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ スマンティヨ、ヨサファット テトコ [インドネシア] 男：千葉大学 [博士] (人工システム科学)：千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻長・リモートセンシングコース長

【2002 年度奨学生】

Baek Insoo 白 寅秀 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (商学)

Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学)：開南大学応用日本語学科・応用中国語学科副教授 (在台北)

Jo Gyuhan 曹 奎煥 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地質学)

Hu Biangqun 胡 炳群 [中国] 男：日本工業大学 [博士] (システム工学)：日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

Iko Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)：インドネシア三井物産 (在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マングフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男：

一橋大学 [博士] (地域社会学)：(在米カンザス)

Mukhopadhyaya, Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャナ [インド] 女：東京大学 [博士] (宗教学宗教史)：デリー大学・東アジア研究科准教授 (在デリー)

Park Young-June 朴 榮潯 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際社会科学)：国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫 建軍 [中国] 男：国際基督教大学 [博士] (日本語学)：北京大学外国語学院准教授 (在北京)

Wang Xi 王 溪 [中国] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国 (ウィグル)] 男：横浜国立大学 [博士] (人工環境システム)：新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于 晓飛 [中国] 女：千葉大学 [博士] (社会文化科学)：日本大学法学部准教授

【2003 年度奨学生】

Chae Sang Heon 蔡 相憲 [韓国] 男：東京農工大学 [博士] (生物生産学)：天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国天安)

Chang Kuei-e 張 桂娥 [台湾] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化))：東吳大学日本語文学系副教授 (在台北)

Husel フスレ [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化)：昭和女子大学人間文化学部国際学科教授

Kim Hyeon Wook 金 賢旭 [韓国] 女：東京大学 [博士] (総合文化 (表象文化))：国民大学日本学科副教授 (在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭 智雄 [韓国] 男：立教大学 [博士] (経営学)：九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

Lin Shaoyang 林 少陽 [中国] 男：東京大学 [博士] (総合文化 (超域文化))：東京大学総合文化研究科准教授

Lu Yuefeng 陸 躍鋒 [中国] 男：東京海洋大学 (海洋情報システム)：Merit Intelligence Development Centre, Director (在トロント)

Piao Zhenji 朴 貞姫 [中国] 女：明海大学 [博士] (応用言語学)：北京語言大学外国語学院日本語学部教授 (在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女：白百合女子大学 [博士] (児童文学)：ポローニャ大学、ペルージャ外国人大学非常勤講師 (在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリザ [ブラジル] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在ロンドン)

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 女：東京大学 [博士] (材料学)：韓国機械研究院附属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

Zang Li 臧 俐 [中国] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論))：東海大学短期大学部准教授

【2004 年度奨学生】

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニャメチェ [ガーナ] 女：東京医科大学 [博士] (薬理学)：(在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女：カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究)：Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ [ウクライナ] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：ハーバード大学ウクライナ研究所フルブライト客員教授、キエフモヒラアカデミー国立大学文学部歴史学科准教授

Lee Jea Woo 李 済宇 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地盤地震工学)：AECOM, Associate Director (在メルボルン)

Lee Sung Young 李 承英 [韓国] 女：筑波大学 [博士] (言語学)：光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 (古澤敏之) [中国] 男：筑波大学 [博士] (言語学)：松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 男：慶応大学 (環境デザイン)：RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男：東京工業大学 [博士] (機械制御システム)：パークレイズ証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 女：東京大学 [博士] (宗教史学)：立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女：東京大学 [博士] (法学)：国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：建国大学校行政大学院社会福祉学科招聘教授 (在ソウル)

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学)：東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包聯群 [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 珺巧 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):(在パークレー)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女:東京大学 [博士] (日本文化研究): 青山学院大学文学部准教授

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝インフラシステムズ株式会社鉄道システム事業部

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男:東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)): (社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女:東京学芸大学 [博士] (心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男:東京大学 [博士] (地域文化研究): 国立交通大学社会と文化研究所副教授 (在台北)

Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレション ティウ [フィリピン] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): Accenture Inc. (在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男:東京工業大学 (数理・計算科学)

Wang Xueping 王 雪萍 [中国] 女:慶応義塾大学 [博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男:総合研究大学院 [博士] (統計科学): Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男:一橋大学 [博士] (商学):(在上海)

[2006 年度奨学生]

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男:総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学):ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女:千葉大学 [博士] (看護教育学): 四川大学華西看護学部華西病院准教授 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男:東京大学 [博士] (地域文化):(在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男:慶応義塾大学 [博士] (政治学): 中国社会科学院アジア太平洋・グローバル (全球) 研究院 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 女:東京大学 [博士] (比較文化): 元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女:東京大学 [博士] (情報理工学):(在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女:千葉大学 [博士] (日本研究):(在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女:慶応義塾大学 (美学美術史):(在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 男:東京大学 [博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学): 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男:電気通信大学 [博士] (電子工学):シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア (在ヒューストン)

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男:東京大学 [博士] (建築学):(在仁川)

[2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女:東京大学 (地域文化研究):(在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端エネルギー学): Super C Inc. 代表 (在深圳)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 政淑 [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学): 日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国 (ウイグル)] 男:東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女:東京大学 [博士] (文化資源学): 韓

国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porras Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男:東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ、プンタレナス)、東京海洋大学研究員

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女:日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 剣宏 [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学): (株) 日本工営中央研究所研究員

Ohinata Mine (Yan Hainian) 大日向美音 (顔 海念) [中国] 女:東京大学 [博士] (国際保健学): (株) 中外製薬医薬安全性本部 PV サイエンス部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラフ、シュラトフ [ロシア] 男:慶応義塾大学 [博士] (政治学): 神戸大学大学院国際文化学研究科准教授 (在神戸)

[2008 年度奨学生]

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男:東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (国際関係学): プリティッシュコロンビア大学アジア研究所研究員 (在バンクーバー)

Shiohara Vroni Friederike 塩原フロニ・フリデリケ [ドイツ/スイス] 女:東京芸術大学 [博士] (文化財保存学): BMW GROUP Japan デジタル・マーケティング・マネージャー

Liu Jian 劉 健 [中国] 女:北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男:早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男:亜細亜大学 [博士] (経済学): 内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy ブアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女:宇都宮大学 [博士] (物性工学): (在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男:桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外国語大学日本語学院副教授 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女:学習院大学 (哲学): (在ロンドン)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム): 南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム): Hikvision USA, Product Manager (在カリフォルニア)

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男:武蔵野美術大学 (造形芸術)

Zhang Jian 張 建 [中国] 男:東京大学 [博士] (教育学): 東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

[2009 年度奨学生]

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男:国民大学/東京大学 [博士] (日本史学): 駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwish, Housam タルウィッシュ、ホサム [シリア] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

Kaba Melek カバ メレキ [トルコ] 女:筑波大学 [博士] (文芸・言語): ネヴシェヒル・ハジュ・ベクタシュ・ヴェリ大学東洋言語東洋文学科 助教授 (在トルコ)

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女:立教大学 [博士] (日本文学): 立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 榮珠 [韓国] 男:千葉大学 [博士] (地球生命圏科学): (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女:東京大学 (国際法): 関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Schicketan, Erik Christopher シッケタンツ、エリック [ドイツ] 男:東京大学 [博士] (宗教学宗教史学): 國學院大学神道文化学部助教

Shermatov Ulugbek シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男:明治大学 [博士] (民事法学): ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女:東京大学 [博士] (森林科学): 国立山林科学院森林病虫害研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンブ、エルメル [オランダ] 男:東京大学 [博士] (文化人類学): ライデン大学人文科学科 地域研究所 (LIAS)

韓国学専攻専任講師（在ライデン）

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トウ [ミャンマー] 男:早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女:東京大学 [博士] (アジア政治思想史): 東北大学大学院国際文化研究科准教授 (在仙台)

[2010 年度奨学生]

Phramahachatpong Katapunño プラマハチャッポン [タイ] 男: 東洋大学 [博士] (仏教学): (在米シアトル)

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女:東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): 国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 女: 学習院大学 [博士] (日本語日本文学): (株) アートボックス (在バンコク)

Kim Kyongtae 金 キョンテ [韓国] 男:高麗大学/東京大学 [博士] (歴史学): 高麗大学文科大学研究教授 (在ソウル)

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男:東京工業大学 [博士] (材料工学): (株) POSCO 研究員 (在韩国全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (国語教育学): 早稲田大学教育・総合科学学術院講師、学習院大学非常勤講師

Lu Liang 蘆 亮 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (原子核工学): 中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド, イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 男: 筑波大学 [博士] (知能機能システム): カザン連邦大学教授 (在ロシア・カザン)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドウィ・ロスティカ [インドネシア] 女: 国土館大学 [博士] (政治学): 大東文化大学国際関係学部講師

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル, マティアス [フランス] 男: 二松学舎大学 [博士] (中国学): 二松学舎大学文学部都市文化デザイン学科専任講師

Sakurai Shin (Wang Xin) 櫻井 慎 (王 昕) [中国] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学): 株式会社リブロライフ

Yoon Jin-Hee 尹 ジンヒ [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究): 同志社大学社会学部教育文化学科准教授 (在京都)

[2011 年度奨学生]

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学): 高麗大学校・師範大学・歴史教育科助教授 (在ソウル)

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男:千葉大学 [博士] (建築都市科学): 鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜 文熙 [韓国] 女: 日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eunhye 金 銀恵 [韓国] 女:ソウル大学/東京大学 [博士] (都市社会学): 釜山大学社会学科助教授 (在プサン)

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男:延世大学/慶應義塾大学 [博士] (国際政治学): 忠南大学助教授 (在ソウル)

Lee Hyejeong 李 孝庭 [韓国] 女:国際基督教大学 [博士] (比較文化): 世宗大学教養学部招聘教授 (在ソウル)

Li Yanming 李 彦銘 [中国] 女: 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 東京大学教養学部国際コミュニケーションセンター特任講師、慶應義塾大学東アジア研究所訪問研究員

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (地域文化): 内蒙古大学蒙古歴史学系歴史学専業主任 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女:ボストン大学/東京大学 [博士] (国際政治経済): 漢陽大学国際学部兼任教授 (在ソウル)

Peng Hao 彭 浩 [中国] 男: 東京大学 [博士] (日本文化研究): 大阪市立大学社会科学系研究院経済学研究科准教授 (在大阪)

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学): 東京医科歯科大学ボスドク研究員

Xie Hui-zhen 謝 恵貞 [台湾] 女:東京大学 [博士] (アジア文化研究): 文藻外語大学日本語文学系助理教授 (在高雄)

[2012 年度奨学生]

Chen Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 男:東京大学 (文化人類学): (在台湾)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (生物科学): 国際基督教大学博士研究員

Dale, Sonja デール、ソニヤ [ノルウェー] 女:上智大学 [博士] (グローバル社会): 一橋大学社会学部特任講師

Flick, Ulrich フリック、ウルリッヒ [ドイツ] 男:ハイデルベルグ大学/早稲田大学 [博士] (東アジア研究): 東北学院大学教養学部言語文化学科講師 (在仙台)

Han Lingji 韓 玲姬 [中国] 女:筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京中央日本語学院養成事業部・教務部専任講師

Li Xue 李 雪 [中国] 女:筑波大学 [博士] (文芸・言語): 寧波大学外国語学院日本語学科講師 (在寧波)

Oh Jungkeun 呉 正根 [韓国] 男:横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント): 国立環境科学院資源循環研究課研究員 (在仁川)

Park Hyunjung 朴 炫貞 [韓国] 女:武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術): 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教授 (在札幌)

Rio, Aaron リオ、アーロン [アメリカ] 男:コロンビア大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): ミネアポリス美術館日本・韓国美術学芸員 (在ミネアポリス)

Sung Kihyuk 成 耆赫 [韓国] 男:明治大学 (日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男:東京農工大学 [博士] (情報工学)

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男:東京農工大学 [博士] (機械システム工学): 井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭 秀 [中国] 男:東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学)

[2013 年度奨学生]

Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アイengel [スペイン] 男: 東京大学 [博士] (文化・人間情報学): 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス総合政策学部訪問講師

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (社会学): 東京大学総合文化研究科学術研究員

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム科学): 天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男:筑波大学 [博士] (生命産業科学): 神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学非常勤講師 (在ソウル)

Nordström, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン [スウェーデン] 男: 早稲田大学 [博士] (演劇映像学): 都留文科大学国際教育学科講師

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学): (株) 日立製作所日立研究所研究員 (在ロンドン)

Virag, Viktor ヴィラーグ、ヴィクトル [ハンガリー] 男: 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師 (在長崎)

Xie Pu 解 璞 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (日本語日本文学): 北京大学外国語学院 (在北京)

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 男: 東京工業大学 [博士] (原子核工学): 東京工業大学物質理工学院助教

Zhang Liang 張 亮 [中国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (医学研究) (在カナダ)

[2014 年度奨学生]

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男: 東京外国語大学 [博士] (総合国際学): 学習院大学法学部特別客員教授

Cakir, Murat チャクル、ムラット [トルコ] 男:筑波大学 (教育基礎学): 関西外国語大学特任講師 (在大阪)

Chae Kyeonghoon 蔡 兪勲 [韓国] 男:東京芸術大学 (映像メディア学): 韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韩国)

Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル [モンゴル] 女:筑波大学 [博士] (疾患制御医学): (在米)

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男: 慶應義塾大学 [博士] (政策メディア): 在日ジョージア大使館分析官、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

Hu Yanhong 胡 艶紅 [中国] 女:筑波大学 [博士] (歴史・人類学): 華東師範大学馬克思主義学院 (在上海)

Kim Taehee 金 兌希 [韓国] 女: 慶應義塾大学 [博士] (政治学): コンスタンツ大学非常勤研究員、社会科学データ分析修士課程 (在ドイツ・コンスタンツ)

Li Hui 李 暉 [中国] 女: 東京大学 [博士] (建築学): 奈良文化財研究所アソシエイトフェロー (在奈良)

Li Ting 李 婷 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (日本語教育学): 日本大学文理学部助教

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッマー、ジャクファル・イドルス [インドネシア] 男: 国士舘大学 [博士] (政治学): 国士舘大学政経学部非常勤講師

Ryu Chunghee 柳 忠熙 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (比較文学比較文化): 福岡大学人文学部東アジア地域言語学科講師 (在福岡)

Wang Huijun 王 慧雋 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

[2015 年度奨学生]

Buritica Alzate, Jiliana ブリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 女: 国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス): 国際基督教大学ジェンダー研究センター特任助教

Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 女: 東京藝術大学 [博士] (美術): 東京大学先端技術研究センター特任助教

Cho, Guk 趙 国 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (人文科学): ソウル大学日本研究所客員研究員

Feltens, Frank フェルテンズ、フランク [ドイツ] 男: コロンビア大学 / 学習院大学 [博士] (美術史考古学): フリーア美術館学芸員

Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 男: 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 身延山大学東洋文化研究所研究員

Grib, Dina グリブ、ディーナ [ロシア] 女: 首都大学東京 [博士] (人間科学): 名古屋大学国際機構国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

Kim, Yullee 金 律里 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (基礎文化研究): (在ソウル)

Li, He-Shu 李 蘇書 [台湾] 男: 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 東京大学大学院人文社会系研究科助教

Moon, Kyungnam 文 景楠 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (哲学): 東北学院大学教養学部言語文化学科准教授

Park, Wonhwa 朴 源花 [韓国] 女: 東京大学 (国際社会科学)

Yan, Shulan 顔 淑蘭 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 社会科学院文学研究所 (在北京)

Yang, Yu Gloria ヤン、ユー グロリア [中国] 女: コロンビア大学 / 東京大学 [博士] (美術史): 九州大学大学院人文科学研究科助教 (在福岡)

[2016 年度奨学生]

Chang, Wei-Jung 張 瑋蓉 [台湾] 女: お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際): お茶の水女子大学基幹研究院リサーチフェロー

Cho, Ahra 曹 娥羅 [韓国] 女: ソウル大学 / 慶應義塾大学 (国際地域学) 韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

Choi, Yurina 崔 ユリナ [韓国] 女: 武蔵野美術大学 (造形美術)

Hong, Sung-min 洪 性珉 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (人文科学): 早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター助手

Jeon, Sangryul 全 相律 [韓国] 男: 東京大学 (言語情報科学): 神田外国語大学外国語学部アジア言語学科非常勤講師、神奈川大学外国語学部国際文化交流学科非常勤講師、帝京大学外国語学部外国語学科非常勤講師

Jiang, Jianwei 蒋 建偉 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (人文科学): 中山大学歴史学系ポスドク研究員 (在広州)

Lamsal, Bikash ラムサル、ピカス [ネパール] 男: 足利工業大学 [博士] (情報・生産工学): 鹿島建設技術研究所研究員

Lee, Ji Hyeong 李 志炯 [韓国] 男: 千葉大学 [博士] (デザイン科学): 第一工業大学建築デザイン学科助教 (在鹿児島)

Lin, Qian Qian 林 茜茜 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (教科教育学): 同済大学専任講師 (在上海)

Morrison, Lindsay Ray モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 女: 国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス): 武蔵大学人文学部英語英米文化学科専任講師

Nam, Euiyoung 南 衣映 [韓国] 女: 東京大学 (学際情報学)

Noh, Joeeun 盧 ジュウン [韓国] 女: 東京大学 (学際情報学)

[2017 年度奨学生]

Akbari, Hourieh アキバリ、フーリエ [イラン] 女: 千葉大学 [博士] (公共研究): 白百合女子大学非常勤講師、千葉大学人文社会科学研究科特別研究員

Bajracharya, Dinu バズラチャルヤ、ディヌ [ネパール] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): R & D Bridge Nepal (在カトマンドゥ)

Chen, Yan 陳 夔 [中国] 女: 東京大学 (超域文化科学): Dazzling Star Japan 株式会社

Fassbender, Isabel ファスベンダー、イザベル [ドイツ] 女: 東京外国語大学 (国際社会): 立命館大学言語教育センター外国語嘱託講師、同志社大学 The Institute for the Liberal Arts 非常勤講師 (在京都)

Guarini, Letizia グアリーニ、レティツィア [イタリア] 女: お茶の水女子大学 (比較社会文化学): 国際基督教大学ジェンダー研究センターリサーチアシスタント、桜美林大学非常勤講師

Kim, Do-young 金 跳咏 [韓国] 男: 総合研究大学院大学 [博士] (日本歴史研究): 慶北大学考古人類学部非常勤講師 (在大邱)

Kindstrand, Love シンドストラン、ロヴェ [スウェーデン] 男: シカゴ大学 / 上智大学 (比較文化研究)

Kolodziej, Magdalena コウオジェイ、マグダレナ [ドイツ・ポーランド] 女: デューク大学 / 早稲田大学 [博士] 美術史: デューク大学講師 (在米ダーラム)

Ofosu, Joseph Ampadu オフォス、ジョセフ アンベドゥ [ガーナ] 男: 東京大学 [博士] (先端エネルギー工学): イマジニアリング (株) (在神戸)

Park, Jonghyuk 朴 鍾麟 [韓国] 男: 東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検査医学): 日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

Sim, Woohyang シム、ウーヤン [韓国] 女: 早稲田大学 (教育基礎学): 早稲田大学教育・総合科学学術院助手

Song, Han 宋 哈 [中国] 男: 東京大学 [博士] (日本文化研究): フェリス女子大学文学部日本文学科助教

Yang, Guanqiong 楊 冠穹 [中国] 女: 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 関西外国語大学外国語学部助教

[2018 年度奨学生]

Chiang, Yung Po 江 永博 [台湾] 男: 早稲田大学 (日本史学): 株式会社トラバース、早稲田大学文学研究科研究生

Cho, Suil 趙 秀一 [韓国] 男: 東京大学 (言語情報科学)

Corbel, Amélie コーベル、アメリ [フランス] 女: バリ政治学院 (比較政治)

Haritaipan, Lalita ハリタイパン、ラリター [タイ] 女: 東京工業大学 [博士] (工学機械): リブ・コンサルティング (在バンコク)

Kim Boram 金ボラム [韓国] 女: 東京大学 [博士] (電気系工学): サムスン電子総合技術院 (在ソウル)

Liang, Yihua 梁奕華 [中国] 女: 東京外国語大学 (言語文化)

Min, Dongyup 閔東晔 [韓国] 男: 東京大学 (地域文化研究): 武蔵大学人文学部、横浜国立大学国際戦略推進機構、フェリス学院大学文学部等非常勤講師

Shorina, Dariyagul ショリナ、ダリヤグル [カザフスタン] 女: 筑波大学 (国際日本研究): 明茨日本語学校開設準備室教員

Wu, Xiaoxiao 武瀟瀟 [中国] 女: フランス国立高等研究実習院 (EPHE) / 東京大学 (歴史学・文献学): 東京国立博物館国際交流室アソシエイトフェロー

Wuerrerr, Stefan ヴューラー、シュテファン・ヨアキム [オーストリア] 男: 東京大学 (超域文化科学): 武蔵大学人文学部グローバル・スタディーズ学科非常勤講師

Xie, Fang 解 放 [中国] 男: 東京外国語大学 (言語文化)

Yang, Chun Tin 楊 淳婷 [台湾] 女: 東京藝術大学 (芸術環境創造): NPO 音まち計画事務局

[2019 年度奨学生]

Almerree, Nahed アルメリ、ナーヘド [シリア] 女: 筑波大学 (文芸・言語)

Baraniak-Hirata, Zuzanna バラニャク平田、ズザンナ [ポーランド] 女: お茶の水女子大学 (ジェンダー学際研究)

Chen Lu 陳 璐 [中国] 女: 東京外国語大学 (言語文化)

Chen Zhao 陳 昭 [中国] 女: 東京大学 (文化人類学)

Ferré, Antonin フェレ、アントナン [フランス] 男: 東京大学 (日本語日本文学)

Guo Chiyang 郭 馳洋 [中国] 男: 東京大学 (地域文化研究)

Jin Hongyuan 金 弘淵 [中国] 男: 東京大学 (先端生命科学)

Kim Sinhye 金 信慧 [韓国] 女: 立教大学 (コミュニティ福祉学)

Lai Sihyu 賴 思妤 [台湾] 女: 東京大学 (東アジア思想文化)

Lee Taekjin 李 澤珍 [韓国] 男: 東京大学 (比較文学・比較文化)

Nohara, Jun ノハラ、ジュン [フランス] 男: 東京大学 (国際関係論)

Shin Hyewon 申 惠媛 [韓国] 女: 東京大学 (国際社会・相関社会)

Tang Rui 唐 睿 [中国] 男: 東京大学 (電気系工学)

Xie Suhang 謝 蘇杭 [中国] 男: 千葉大学 (人文公共学)

2018年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

団体

(株) アクト・テクニカルサポート	ケミカルグラウト(株)	中外製薬(株)
大和証券(株)	イースト不動産(株)	(株) イリア
鹿島道路(株)	鹿島建設(株)	鹿島リース(株)
鹿島建物総合管理(株)	かたばみ興業(株)	(株) 三井住友銀行
大興物産(株)	東亜産業(株)	

個人

渥美伊都子 荒井慶子 藤井純一 井出園子 李 鋼哲 八城政基

国際交流事業への寄附・賛助・支援

団体

中外製薬(株)	中鹿榮造(株)	イースト不動産(株)
Haeahn Architecture(株)	鹿島道路(株)	鹿島建設(株)
鹿島建物総合管理(株)	キッコーマン(株)	(株) 小堀鐸二研究所
三菱商事(株)	(株) NI Steel	プラス(株)
ポスコ建設(株)	(株) Senayan Trikarya Sempana	大興物産(株)
東京海上日動火災保険(株)	(株) 虎屋	

個人

阿部和彦	足立憲彦	赤池 豊	明石 康	秋山 豪	網倉和仁
新井欣弥	渥美伊都子	渥美恵子	渥美直紀	包 聯群	曹 波
藤田隆則	深田 宏	福田孝晴	福島和彦	船本洋治	高 偉俊
原 嘉男	橋本留理子	畑村洋太郎	平野 聡	星埜弘明	堀田健介
井手園子	今西淳子	稲山孝英	井上博允	石田弘幸	岩崎純子
鹿島順介	金子 宏	狩野正利	片岡達治	河村一雄	川崎 剛
金 玖淑	木宮正史	岸本啓子	幸田初枝	小泉博義	越島啓介
工藤 捷	功刀欣弥	栗屋志伸(張 桂娥)		郭 在祐	李 恩民
李 鋼哲	前川麻里	前川昭一	皆川倫子	三澤正勝	森川敏雄
森本洋史	村田雄二郎	永山 治	中上英俊	中村順次	中村金郎
中曽根康弘	中谷俊信	中澤忠義	並木隆史	野村維男	沼田正博
大石修一	尾島俊雄	岡 昌男	岡橋輝和	岡本 章	奥村裕一
小山内優	太田美行	大塚 寿	大内聖子	佐野みどり	佐藤道信
佐藤直子	瀬谷啓二	施 建明	嶋津忠廣	白石勝己	末永 航
鈴木由美子	高橋信之	高橋 司	竹田 優	竹本 孝	竹内 忍
瀧沢秀利	谷原 正	田代民治	戸河里敏	東城清秀	遠山友寛
辻 悦子	上野 宏	呉 弘敏	武 玉萍	山田俊作	山本尚子
柳田耕一	ヤロスラフ・シュラトフ		八城政基	由田哲也	吉留可織
周 海燕	朱 庭耀				

(敬称略)

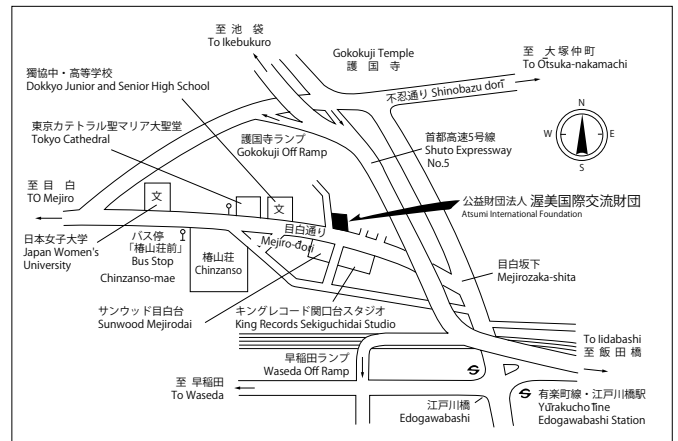
公益財団法人 **渥美国際交流財団**
ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION

〒112-0014 東京都文京区関口3丁目5番8号
3-5-8 Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 112-0014 Japan

PHONE: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: aisf-office@aisf.or.jp

<http://www.aisf.or.jp>



- JR山の手線目白駅より、都バス61番 新宿駅西口行、
「椿山荘前」下車・徒歩3分
Take The 61 bus from Mejiro Station (JR Yamanote line) and
get off at the “Chinzansomae” stop. 3 min. walk.
- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」(出口A1)
下車・徒歩10分
Get off at Edogawabashi station from the Yurakucho subway
line. (A1 exit 10 min. walk)

発行者：公益財団法人渥美国際交流財団

発行日：2019年6月1日

発行責任者：渥美伊都子

印刷：株式会社藤印刷



ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2018

2018年度 公益財団法人 渥美国際交流財団 年報